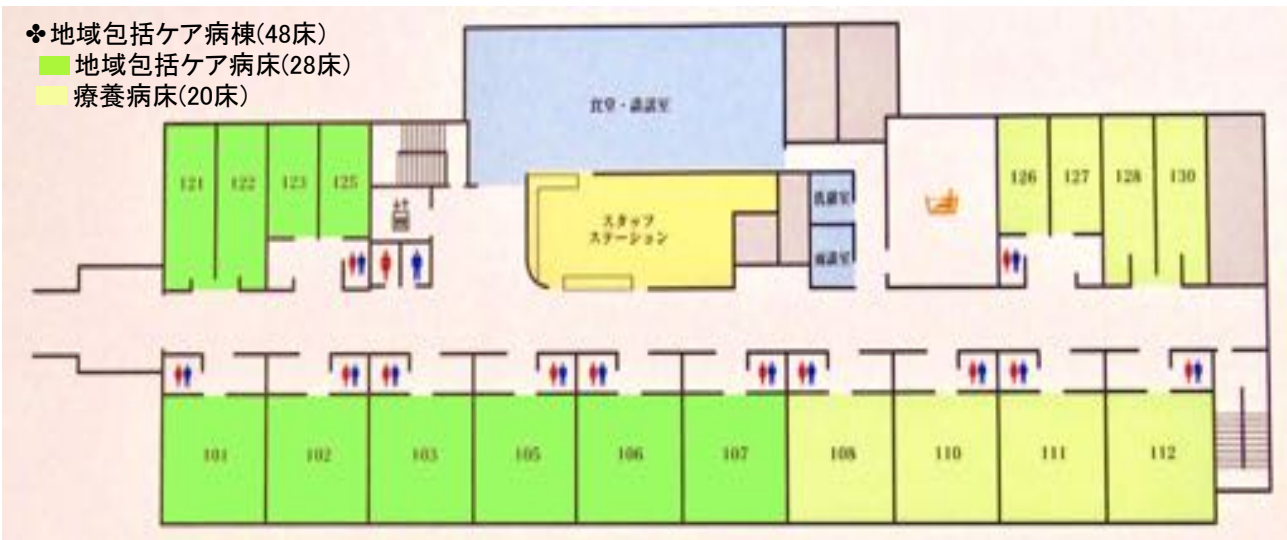
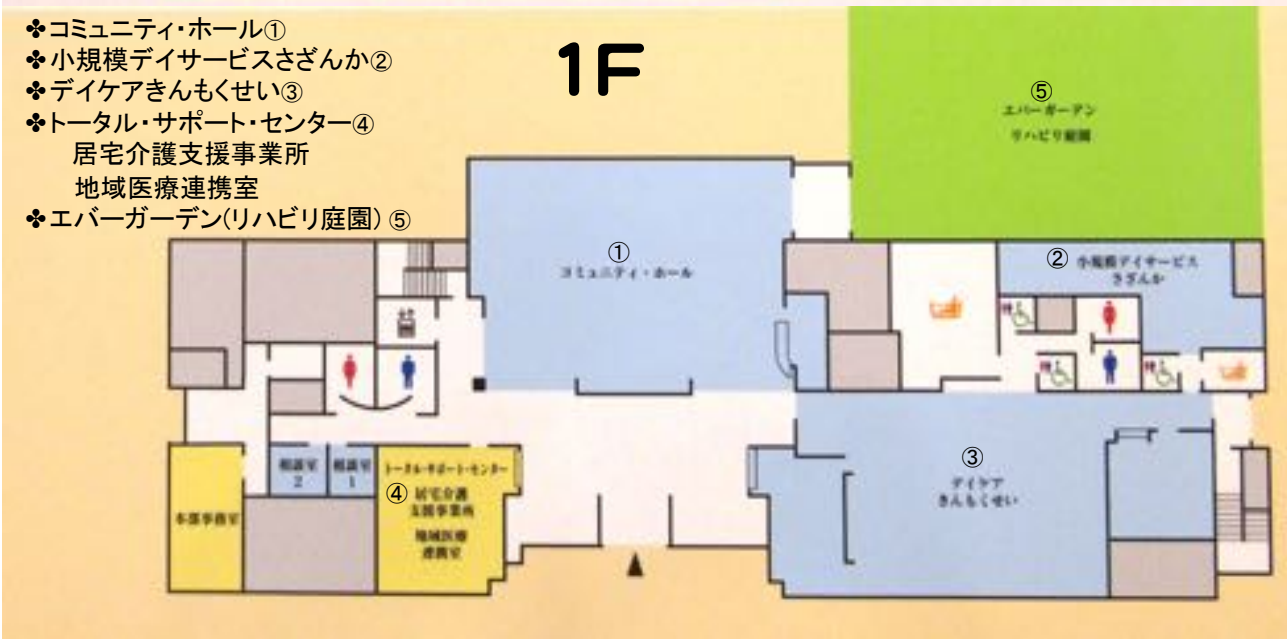


フロア案内

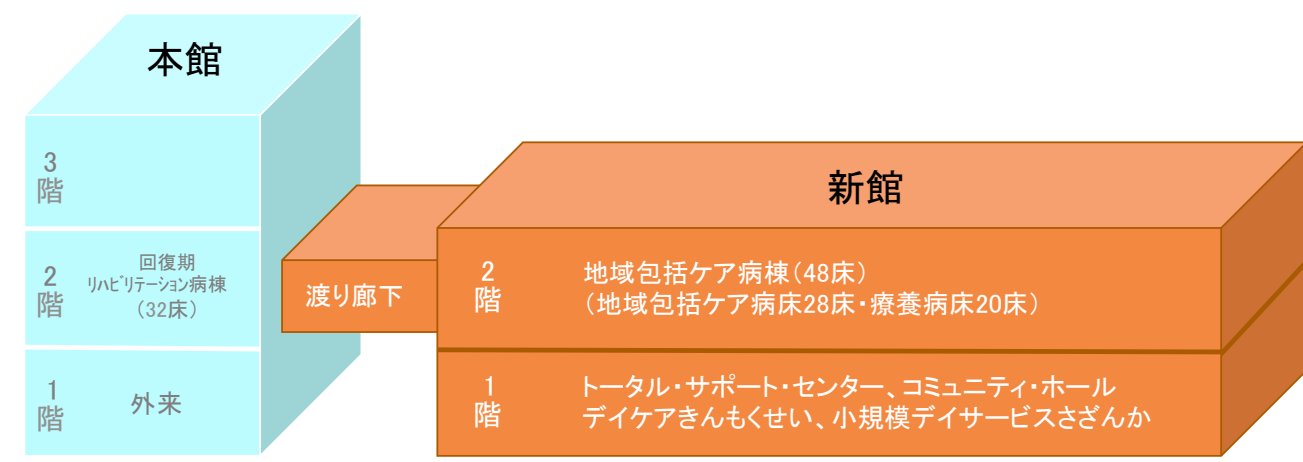
2F



1F



新館のご案内



ご挨拶

当院は大正14年(1925年)の開院以来、この鹿島において一貫して地域医療に取り組んで参りました。開設100年まで後6年となった今、当院にとって大きな岐路に立つこととなりました。

地域医療構想の基盤となる議論が整いつつある昨今です。近年、私達もこの地域での当院の役割についてしっかり認識し、今後の方針を更に明確にすべく、現状の精査、検討を進めておりました。そんな折の一昨年、図らずも祐仁会吉田病院の事業譲渡をお受けすることとなり、当院の将来構想についても再考する必要に迫られました。幸い、現在当院の機能の中で中核をなしている在宅医療(高齢者急性期～慢性期医療)及び回復期リハビリテーション機能が、この地域の中でも今後更に必要とされる見込みであり、当院はそれらを更に強化、拡張していく方針を固めました。地域医療構想調整会議において、この方針について説明し、ご理解を頂き、この度の合併増床の運びとなりました。

新病棟を含む新館の増築が完了し、当院はこの6月から、地域包括ケア病棟48床(地域包括ケア病床28床、在宅復帰機能強化療養病床20床)と、回復期リハビリテーション病棟32床の2病棟体制、計80床の病院となります。この病床のバランスが、現時点においては、この地域で必要とされている入院医療の付託に応えることができるものであると考えております。

ここに至るまで、様々な皆様に大変多くのご指導、ご尽力を頂き、何とかこの日を迎えることが出来ました。関係者各位に深甚なる感謝を申し上げますと共に、今後、当院がしっかりと役割を果たすことで地域包括ケア、更に地域そのものを支え続け、皆様の期待にお応えすることをご恩返ししていきたいと存じます。

当院が掲げる理念「一本の大きな木のように～地域に安心と豊かさを～」に違わない活動を続けて参る所存です。今後共、ご指導、ご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



令和元年5月吉日

理事長 志田 知之



トータル・サポート・センター

医療と介護、在宅と入院のシームレスな連携を図るため、地域医療連携室と居宅介護支援事業所を同じスペースに設置しました。



コミュニティ・ホール

地域の皆様が集うコミュニティ・スペースとして、年間を通して様々なイベントを開催する予定です。



エバーガーデン(リハビリ庭園)

屋外庭園は回遊型とし、リハビリ機能を持たせました。季節の花や木々を楽しみながら、屋外でのリハビリや散歩などに利用できます。



地域包括ケア病棟 スタッフステーション

病棟の中心に位置し、病棟全体にアクセスしやすく、オープンカウンターなので周りを見渡せます。



エントランス・ホール



地域包括ケア病棟 廊下

新館の床は安全性を考慮し、クッション性の高い床材にこだわりました。



地域包括ケア病棟 食堂・談話室

庭園も見渡せる広々とした明るい空間です。



地域包括ケア病棟 個室

洗面台、トイレ、ソファベッド、大型テレビを完備しています。



地域包括ケア病棟 4床室

プライバシーに配慮した快適な入院環境を整備しました。間仕切り家具の高さを180cmと高くし、個室感を出しています。